

(塾名) 尾張旭市地域未来塾 (運営主体)

東部地区：一般社団法人あいち子ども包括支援協会

西部地区：学習支援ランナーズ (今年度より増設)

(取組の概要)

1 背景・ねらい

中学生・高校生の学習意欲の充実及び向上や、子供たちの居場所づくりとなるよう勉強以外のコミュニケーションも図ること。

2 対象校・対象者

市内在住の中学生・高校生

3 実施教科

生徒が希望する教科

4 実施場所

- ・東部地区：委託先法人の施設
- ・西部地区：渋川福祉センター

5 実施の形態

生徒が学習する教科の教科書・問題集・宿題・教材を持参する自主学習方式を基本とし、学習支援員が質問等に個別で学習支援を行う。

6 実施日・回数

- ・東部地区：4～3月の木曜日 47回
- ・西部地区：4～3月の土曜日 46回
- ・東部地区：午後5時～9時
- ・西部地区：午後1時30分～5時30分

実施時間帯

7 登録人数

(R5.12現在)

- ・東部地区：94名
(中学生：1年生50名、2年生8名、3年生17名、高校生：1年生9名、2年生8名、3年生2名)
- ・西部地区：48名
(中学生：1年生25名、2年生10名、3年生11名、高校生：1年生2名)

8 参加人数(平均)

- ・東部地区：51人
- ・西部地区：33人

9 コーディネーター等の取組の様子

学習支援員が支援の状況の把握、出欠管理、学生サポーターの援助等を行っている。学習支援員同士で打合せを行い、生徒の状況について情報を共有している。

<東部地区>



<西部地区>



(取組の結果・効果)

令和2年7月から地域未来塾を開始した。毎年定員数を超える申込みがあり、今年度より西部地区の増設を行った。学習が遅れがちな生徒に寄り添った手厚いフォローができて、子供たちの居場所づくりとなるよう勉強以外のコミュニケーションも積極的に取るようにしており、その後口コミによる追加の応募もある。毎月出欠の希望を取り、地域未来塾に通う意識を高めるようにしている。他校の生徒と触れ合うことで、子供同士刺激し合い熱心に勉強に励んでいる。

新型コロナウイルス感染症対策として、引き続きアルコール消毒等を行い、実施時間帯は換気を徹底し実施している。